

## 薪ストーブの使用方法

### 着火時に守ること

- ・ 焚き付け用の薪は、必ず細いものを使用すること
- ・ 乾燥した薪を使用すること
- ・ 紙やビニールは燃やさない！

### 着火

まずは炉を温めます。吸気を全開にし薪を燃やしましょう

1. 下トピラは必ず閉めてロックすること！



2. 一次燃焼用とエアカーテン・二次燃焼用給気口を全開にします。



(閉)



(開)

3. 正面トピラを開けます。



4. 焚き付け用薪を炉床に積みます。  
薪のそばに着火剤を2, 3個置きます。



5. マッチまたはライターで着火剤に火をつけます。

炉内は壊れやすいパーツがあります  
薪を投げ入れたりしないでください



6. 炎が起きてきたら、薪 2~3kg(1~2本)を入れます。
7. トピラを閉めます。



8. 薪全体に炎が回ったら、  
一次燃焼用給気口(左側レバー)を閉めます



9. 天板の温度が200°Cになったら、  
エアーカーテン・二次燃焼用給気口(右側)を  
徐々に閉めて火力の調節をします。  
このとき、炎が消えないように気をつけて  
ください。

## ・炎の調節

### ワンポイントアドバイス

炎を強める場合はエアーカーテン・二次燃焼用給気口(右側)を開き、  
弱める場合はエアーカーテン・二次燃焼用給気口を閉めて、給気を調整します。

## ・薪の追加

炉の中の薪がおき火の状態になったら、薪を追加します。

1. 一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用吸気口を全開にします。
2. 正面または側面扉を開けて、薪を追加します。
3. 扉を閉めます
4. 薪全体に炎が回ったら、一次燃焼用給気口を閉めます。
5. 天板の温度が約200°Cになったら、エアーカーテン・二次燃焼用給気口を徐々に閉めます。

### ワンポイントアドバイス

側面側から薪を入れると、熱気をうけずに炉の奥へ薪を入れることができます。



## 消 火

1. 全ての扉を閉めて、ロックします。  
(扉が開いて、燃焼中の薪や、火種がストーブの外に落ちるのを防ぎます)
2. 薪の火が消えるまでそのままにしておきます。(強制的に薪の火を消す必要はありません)

## ・扉の開閉

1. 扉の開閉には、正面扉、側面扉、灰受け扉共用のレバーハンドル(脱着式)を使用します。



## ・給気口レバーの開閉

